

【空飛ぶ未来を拓くドローンワールドプロジェクト】

令和7年度  
高校生ドローンコンテスト  
ルールブック

主催：長崎県

# 1. コンテスト概要

## 目 的

ドローンのスキルを競うことにより、県内高校生のドローンスキルの向上を図るとともに、県内高校のドローンの取組を普及する。

## 日 時

令和7年12月25日(木) 13:00 ~ 17:00

## 場 所

シーハット大村 サブアリーナ  
(大村市幸町25-33)

## 対 象

長崎県内の高校に在籍する高校生  
(学年問わない)

1チーム：1 ~ 3名まで



駐車場利用可：無料

## 2 . レギュレーション

### 部門

【アイデア部門】【操縦部門】【プログラミング部門】の3部門

### チーム

各部門ともチーム単位での参加。1チームあたり1～3名とし、同じ学校単位でのチームとすること。

### エントリーについて

- ・重複してエントリーすること可能。1チーム2部門まで。
- ・各部門最大10チームまでとし、10チーム以上の応募があった場合は選考を行う。（操縦部門のみ15チーム上限）

### 賞品

- ・各部門とも上位3チームには賞状を贈呈する。
- ・優勝チームには、景品としてトイドローン（1人1台）を贈呈する。



### 3 . 【アイデア部門】

ドローンを活用した「町おこし」や「地域・社会課題の解決」、「学校の魅力向上」のアイデアを考え、その内容を競う。



発表時間：発表 5 分 + 質疑応答 5 分 = 計 1 0 分

発表資料：パワーポイントにより制作すること

審査員：3 ~ 5 名程度

審査項目：(1)新規性・革新性・優位性  
(2)実現可能性  
(3)表現力

アイデアの例

町おこし            ドローンdayとして、地域のいろんなところでドローンの  
体験やショーが実施されるお祭りの開催

地域・社会課題            顔認識機能を搭載して、迷子の搜索

学校の魅力向上            学校を空撮した映像によるカレンダー制作    など

## 4 . 【操縦部門】

制限時間内にドローンを操縦して、指定されたコースを飛行して得点を競います。

制限時間：2分程度

使用機体：DJI Tello



同等品であれば各学校で使用しているトイ（プログラミング）ドローンを使用することも可能。事前に相談すること。

コントローラー：スマートフォン

各学校で使用しているコントローラーを使用することも可能

コース：2週間前を目途に参加者に発表します。

## 5 . 【プログラム部門】

事前に提示するコースをもとに、プログラムを組んだドローンを自律飛行させ、課題の達成度を競います。

使用機体：DJI Tello

同等品であれば各学校で使用しているToy（プログラミング）ドローンを使用することも可能。事前に相談すること。

コースについて：開催の1か月前に参加チームにお知らせします。なお、一部区間は当日発表で、当日プログラムを組んでいただきます。  
（コースは、前後＋上下＋左右のプログラムの組み合わせでクリアすることができます）

プログラミング言語：Python

スクラッチは不可。当日は生成AIを用いて、プログラミングを組むことも可能です。

